

## 令和5年度 第3回鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 令和5年11月20日(金) 13:30 ~ 14:47  
会議方法 対面会議(オンライン併用(Google Meet))  
会 場 事務局棟3階 第1会議室  
出席者 (学外) 占部, 江崎, 中島, 林田, 松本, 宮崎, 吉岡, 渡辺の各委員  
(学内) 中島, 河田, 原田, 山口, 小嶋, 藪田, 坂本, 武中の各委員  
陪席者 田中監事, 足立監事, 山根副学長, 岡田副学長, 安延副学長, 川村副学長,  
香川副学長, 岸本地域学部長, 景山医学部長

### 議事要旨の承認

前回(令和5年9月22日開催, 令和5年度第2回)の議事要旨を承認した。

### 議 題

#### 1. 令和5年度第1次学内補正予算(案)

資料1に基づき, 補正予算案の概要及び執行計画案(実施事業概要)について説明があり, 審議の結果承認した。

### 討 議

#### 1. 海外の大学との交流の発展について

資料2・3に基づき, 本学における国際交流の状況について説明があり, 説明後, 各委員との意見交換が行われた。

#### — 委員からの主な発言 —

- ◇ 鳥取大学の取組みとして, 将来期待されるプログラムだと思う。
- ◇ TOUGHプログラムについては, 単なる語呂合わせではなく, 本当に今求められている人材育成だと思う。
- ◇ 留学希望者が集まらないのは金額的な負担が理由なのか, お金を支援するのであれば参加するというのであれば, 本当にそれでよいのかと思う。大学などの支援・援助に依存する体質でよいのかというジレンマがある。
- ◇ 昔は留学というと研究したいことが決まっており, それを学べるところへ留学

するといったイメージだったが、今日紹介いただいたものはどちらかというところやる気に火をつける、より火を大きくするものだと思う。海外に行こうと思わせるための仕掛けをもう一段仕掛けていく。どうすれば願う形に乗っかってきてくれるか、プログラムの在り方についてよりアップデートする必要があるのではないか。

- ◇ このプログラムの目標はこれから生きていく人にとって必要であると感じており、より参加する人が増えればよいと思う。海外で色々なことを学びたいと思う学生が集まるゲートウェイとしての鳥取大学もあり得ると思う。海外留学を魅力の一つにしていくのも面白いのではないかと。
- ◇ 国の方針として10年で海外への留学者数を倍増させるという思い切った方針が打ち出されており、それは国の教育ニーズとして重きを置いているということである。ぜひ他の大学に先駆けて、増やしていく努力をお願いしたい。
- ◇ 学内には留学生も研究者もおり、その人たちに活躍してもらうためにも、学内で留学生との交流をもっと増やすとよいのではないかと。コロナ禍においてもオンラインプログラムでは参加者が増えたとの話があったが、留学以外の方法もどんどん増やしていただき、インセンティブをもつ活動を手厚くしていただければと思う。
- ◇ 国外だけでなく、国内でも様々なフィールドを持っている人がおり、学生の興味と研究者とをPerson to Personで繋いでいくのも面白いと思う。

## 2. 鳥取大学の魅力とその発信について

本件については、時間の関係上、次回以降討議を行うこととした。

### その他

資料4に基づき、最近の本学の主なトピックスについて説明があった。

資料5に基づき、令和5年度第4回経営協議会を1月24日開催予定である旨説明があった。